

多発性骨髄腫

論文

- Sagawa M,..., Tokuhira M, et al: TM-233, a novel analog of 1'-acetoxychavicol acetate, induces cell death in myeloma cells by inhibiting both JAK/STAT and proteasome activities. *Cancer Sci.* 2015; 106: 438-446.
- Watanabe R, Tokuhira M, et al. Current approaches for the treatment of multiple myeloma. *Int J Hematol.* 2013; 97: 333-44.
- Tokuhira M, et al: Successful treatment with a modified bortezomib schedule of weekly and longer intervals for patients with refractory/resistance multiple myeloma. *Leuk Res.* 2011; 35: 591-597.
- 得平道英、他：アミロイドーシス. *日本臨床.* 74:488-493、2016.
- 得平道英、他：多発性骨髄腫の新規治療薬に対する薬剤耐性と感受性の機序. *臨床血液.* 57:563-574、2014.
- 得平道英、他：新規薬剤時代における多発性骨髄腫の標準治療. *臨床血液.* 53:1675-1688、2012.
- 佐川森彦、木崎昌弘、得平道英 他：生理活性物質をリード化合物とする構造展開による多発性骨髄腫の新規分子標的薬の開発. *埼玉医科大学雑誌.* 39;1-3、2012.

書籍、雑誌

- 得平道英、他：移植非適応初発多発性骨髄腫の治療. *血液フロンティア.* 28:565-570、2018.
- 得平道英：座談会移植非適応患者・再発不応患者に対する骨髄腫の治療. *血液フロンティア.* 28: 578-585、2018.
- 得平道英、他：再発・難治多発性骨髄腫に対するHDAC阻害薬panobinostatの有効性. *血液内科.* 72: 471-478、2016.
- 得平道英、他：高リスク染色体異常を有する骨髄腫の治療：IMWGによる提言. *血液内科.* 73: 682-690、2016.
- 得平道英：多発性骨髄腫、今日の治療指針. 山口徹、他、編、医学書院、東京、pp.714-721、2016.
- 得平道英、他：多発性骨髄腫に対する無治療経過観察と合理的な治療介入. *血液内科.* 73: 68-74、2016.
- 得平道英、他：ボルテゾミブ：骨髄腫関連腎傷害. *腎と透析.* 76: 101-105、2014.
- 得平道英、他：移植非適応骨髄腫の治療、移植非適応骨髄腫の治療. 清水一之、他、編、医薬ジャーナル社、東京、pp.118-27、2014.
- 飯田真介、高松泰、得平道英、他：多発性骨髄腫診療の現状と展望(座談会). *Trends in Hematological Malignancies.* 5: 12-20、2013.
- 得平道英、他：高齢者骨髄腫における初回治療、プリンシプル血液疾患の臨床. 金倉謙、他、編、中山書店、東京、pp.293-302、2013.

- 得平道英、他：再発の定義と再発例の治療目標-病期の進展に伴うダーウイン的クローン選択をふまえて、多発性骨髄腫Updating、清水一之、他、編、医薬ジャーナル社、東京、pp.120-125、2013.
- 得平道英、他：多発性骨髄腫の診断および病期分類・治療効果判定規準、BIO Clinica. 27: 1218-1223、2012.
- 得平道英、他：再発・難治骨髄腫の治療方針、EBM血液疾患の治療2013-2014. 金倉譲、他、編、中外医学社、東京、pp.381-287、2012.
- 得平道英：多発性骨髄腫における画像診断、多発性骨髄腫治療マニュアル. 木崎昌弘、他、編、南江堂、東京、pp.81-92、2012.
- 得平道英、他：NF- κ B阻害剤、多発性骨髄腫-現状と進歩. 畠清彦、他、編、医歯薬出版社、東京、pp.1194-1201、2012.
- 得平道英、他：再発・難治骨髄腫の治療方針、EBM血液疾患の治療2008-2009. 押見和夫、他、編、中外医学社、東京、pp.381-387、2012.
- 得平道英、他：多発性骨髄腫におけるボルテゾミブの至適投与. 血液内科. 63:232-241、2011
- 得平道英、他：プロテアソーム阻害薬.Trends in Hematological Malignancies. 2: 209-211、2010.
- 得平道英、他：IMiDsの基礎、IMiDsの基礎と臨床.小澤敬也、他、編、医薬ジャーナル社、東京、pp.147-5014-26、2010.
- 得平道英、他：腎障害を伴う骨髄腫患者に対する治療方針. 血液フロンティア. 21: 53-61、2010.
- 得平道英、他：画像検査技術の進歩に伴う骨髄腫における画像診断の有用性. 血液・腫瘍科. 57: 178-186、2008.
- 得平道英、他：多発性骨髄腫、専門医のための薬物療法Q&A. 小松則夫、他、編、中外医学社、東京、pp.2283-2299、2007.
- 得平道英：多発性骨髄腫と関連疾患骨代謝マーカー. 臨床検査. 46: 1439-1440、2002.
- 得平道英：多発性骨髄腫と関連疾患粘稠度. 臨床検査. 46: 1436-1438、2002.
- 得平道英：多発性骨髄腫、内科研修医マニュアル. 慶應義塾大学医学部内科学教室編、南江堂、東京、pp.1039-1042、1999.